

小カブ栽培方法

種まき3下旬~4月上旬
5月・9月

1 畑の準備

石灰 完熟たい肥

冬の間石灰、完熟たい肥を全面にまき、深さ約20cmに耕す

耕した土は小山にし、タネまき直前まで寒気にさらして風化させる

2 元肥入れ まき溝づくり

油かす大さじ3/溝の長さ1m完熟たい肥

油かす大さじ5/溝の長さ1m完熟たい肥

7~8cm

15cm 50~60cm

くわを前後に動かし、溝底を平らにする。
乾いているときは溝全面に水をやり、土を落ち着かせる

3 種まき

タネは細かいので、まき溝の底面の土をよくほぐし、平らにしてからタネまきをし、覆土もむらなく、ていねいに行う。タネは細かいので、高いところから指先でひねるように落とすと均一にまける

50~60cm

まいた後、5~6mm厚さにていねいに土をかけ、くわの背面で軽く押さえる

4 間引き

本葉1枚のころ
1回目の間引き

本葉3枚のころ
2回目の間引き
(葉が重ならない程度に)

本葉5枚のころ
最終の間引き

5 追肥

化成肥料大さじ2/
溝の長さ1m当り

2回目の間引き後と最終の間引き後に行う。
畝の片側に軽く溝をつくって追肥し、埋め戻しながら土寄せする

6 収穫

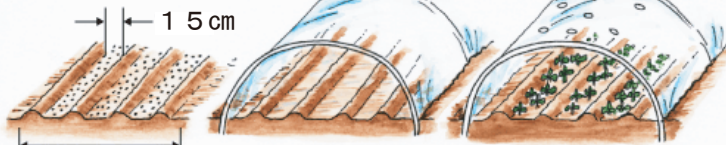
5cm内外

根の直径が5cm内外になったころが収穫

7 裂根

土の乾湿が激しいとき、とくに低温期から暖かくなりかけたときに多い。収穫の遅れも原因となる

春一番をねらうトンネル栽培



① 1ベッドに3列まき

② たつぷりと水をやってトンネルのすそに土をかけ密閉する
③ 本葉1枚のころから穴をあけて換気する
穴は次第に増やす